

## 平成31（令和元）年度 特定非営利活動に係る事業報告書

### 1. 事業の成果

#### <放課後等デイサービス事業>

■事業を開始して7年目を迎える（平成25年4月開設）

放課後等デイサービス いもむし・みのわ 千葉県柏市箕輪 358-1

放課後等デイサービス いもむし・おおい 千葉県柏市大井 554-5

・「児童」「生徒」たちの放課後や学校長期休業時に「生活能力」の向上、「社会との交流促進等」といった支援を行う。

■「個別支援計画」を作成し、一人一人の「ニーズ、個性」にあった指導（支援）を行う。

・社会適応・学習指導（支援）

集団適応の促進の為、集団内でのコミュニケーション能力の向上。

個別、集団での学習指導（支援）

・生活指導

「身体」「生活レベル」に応じた、運動・作業の指導（支援）

・余暇支援

室内外でのレクリエーション、季節に応じた創作活動

法人の理念でもある「自然に触れ豊かな心を創ります」を大いに実践し、日々の活動は、外に出て元気に「遊ぶ」ことを主とし、近隣の公園へ出かけ、楽しむことが出来た。遊びの中から、物事の「順番」、「人の物を取ってはいけない」等、集団の中での社会的ルールを少しずつでも身につけられるようになる。

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染防止のため、事業所内の除菌等を行うよう厚労省より通達があり、3月上旬から、感染拡大防止のため市内の学校も休校になりました。社会福祉事業は休業要請の対象事業に入らず、積極的なサービス提供は控えることにし、各ご家庭において、サービス利用の判断をお願いし、縮小営業とさせていただきました。通常時は、学校終了後の放課後支援業務でしたが、春休み等と同様休業時の長時間支援になり職員もかなり疲弊いたしました。

#### <生活介護事業>

■事業を開始して6年目を迎える（平成26年4月開設）

生活介護事業所 ポム 千葉県柏市箕輪 358-1

・個別支援計画を作成し、一人一人の「個性」・「能力」にあった、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持、向上のため以下の支援を行う。

①人として当たり前の生活を

②より自立的、主体的な生活を

③適切な支えのある生活を

・日中活動の柱は、農作業、創作活動、受注作業を行い、協力・共働を通し、利用者の交流と体験の場を広げる。

#### ■活動内容

・農作業、受注作業、廃油石けん作り・創作活動、調理実習

それぞれの活動を行い、それから得た収益を利用者の「工賃」として支給。

事業所から近くに新たな畑を利用することができ、農作物の収穫量も上がり、利用者の工賃UPにつながる。利用者も増加し活気あふれる事業所になってきました。

※令和2年3月31日をもって、指定事業所終了となるため更新業務を行い、新たに指定を受けました。(令和2年4月1日～令和8年3月31日)

#### <日中一時支援事業>

ほっとほっとルーム 千葉県柏市箕輪 358-1

・今年度も引き続き、障害者の居場所作りと保護者の就労支援及び休息等を支援するために活動する。(成人のみ支援)

成人の通所支援として「生活介護」を行っているが、「障害支援区分3以上」が、契約条件になるため、今後もニーズはあるので、継続して事業は行ってゆく。

#### <移動支援事業>

外出介護いもむし 千葉県柏市箕輪 358-1

・今年度、利用者はいませんでした。

・土日祝日等の余暇活動がより充実したものとなるように、本人の希望とご家族の意向を確認し、利用者本人が有意義な活動が行えるよう移動を支援する。

#### <地域公益事業>

おしゃべり café&食堂 きゃべつ 平成28年8月開設

千葉県柏市柏 3-11-27 アバンパル 柏 210

地域の子供から高齢者まで、誰もが集える場所として開設。生活介護事業所「ポム」で生産した野菜を使用した昼食等を低料金での提供。毎週水曜日に「子供食堂」も行っている。最近では、小中学生の利用が極端に少なくなり、幼児を連れた家族の集いの場となっている。母親は、「週に1回夕食の手間がなくのんびりできる」とご家族の休息の場にもなりつつある。

法人として、知的障がい児者の支援を中心として事業を行ってまいりましたが、障がいの

ある人もない人も、子供も大人もだれもが立ち寄り、くつろげて、おしゃべりできる「みんな」の交流の場所として、地域公益事業「おしゃべり café&食堂 『きゃべつ』」を開設しています。認定 NPO 法人いもむしとして、地域の「みんなで」「元気に」暮らすための活動を今まで以上に支援してゆきます。お互いに助け合い、協力し合って、安心して暮らし続けることができる地域を目指してゆきます。

※店舗運営はそのまま行い、令和 2 年 4 月～「生活介護事業所ポム」の従たる事業所として指定を受ける予定です。

#### <共同生活援助事業>

##### ■共同生活援助事業所ぴゅーぱ 平成 31 年 4 月開設

・平成 31 年 4 月 知的障害のある方の居住施設として、定員 6 名、女性専用のグループホームとして、障がい者総合支援法に基づく「共同生活援助（グループホーム）」事業所設立。開設 1 年目であり、法人としても初めての事業であったので、日々の積重ねの 1 年であった。入居者は、恐らくこれから十数年ほぼ変わることなく住み続けるであろうことから、事業の「存続」、安心して暮らすための「環境整備」等課題は翌年度以降も続くと思われる。

##### ・運営の課題

共同生活援助（GH）事業に関しては、自治体からの訓練等給付費プラス住居者の皆さんからの家賃等＝運営費という構造である。法改正、入居者減、大規模修繕等を考えると、事業所運営はそれほど安易ではなく、既存事業に若干影響を及ぼす形となっている。

## 2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数 (年度)	受益対象者の範囲 及び人数(年度)	支出額 (千円)
放課後等デイサービス いもむし・みのわ	放課後、長期学校 休業時の生活指導 (支援)	月～金	柏市及び近隣地域	5 人	収益者 市民 不特定多数	112,881 千円
放課後等デイサービス いもむし・おおい	放課後、長期学校 休業時の生活指導 (支援)	月～金	柏市及び近隣地域	5 人	収益者 市民 不特定多数	
生活介護事業 「ポム」	・農作業 ・受注作業 ・廃油石鹸作り ・創作活動 ・調理実習 ・納品、販売活	月～金	柏市及び近隣地域	10 人	収益者 市民 不特定多数	

	動に参加					
共同生活援助 ぴゅーぱ	日常生活支援 ・食事の提供 ・金銭管理 等	毎日	柏市及び近隣地域	4 人	収益者 市民 入居者 6 名	
日中一時支援事業 「ほっとほっとルーム」	障害者の居場所作りと保護者の就労支援及び休息等	月～金	柏市及び近隣地域	2 人	収益者 市民 不特定多数	
移動支援事業 「外出介護いもむし」	利用者の余暇活動への参加介護（介助）	毎日	柏市及び近隣地域	2 名	収益者 市民 不特定多数	
地域公益事業 おしゃべり Café&食堂 きゃべつ（子供食堂）	地域の子供から高齢者まで、誰もが集える場所として開設。生活介護事業で生産した野菜を使用した昼食等を低料金での提供。	月～金	柏市及び近隣地域	2 名	収益者 市民 不特定多数	